

くろべ水の少年団



くろべ 水の少年団

事務局 黒部市吉田科 学 務 山本 憲司

指導者協議会会長：金山 盛雄先生
指導教諭：杉澤 興一先生
能澤 祐一先生
西田 五郎先生
滑川 徳子先生
王生 透先生
木戸 瑞佳先生

発表児童：6年生 4名
5年生 1名

発表テーマ

水・川の大切さを感じて ～くろべ水の少年団活動報告～

黒部川を基本に、北アルプスの源流、宇奈月峡谷の上流、そして中流・下流、更に海岸まで、「川と水とのあり方」「川や水の変化」を調べました。さらに土や石や植物がそれぞれの環境によって異なっていることについて観察したり、近年山や谷に発生する土石流について学んだ様子を発表します。

杉澤 興一 先生より

活動を振り返って

多くの子供たちは、郷土の川や自然から学ぶ機会・体験が不足している昨今ですが、水の少年団員は毎年5～6回もの活動を通じて扇状地の水環境に親しみ、川をみる目を深めています。また動植物との共生にも強い関心をもって水環境をチェックしており、毎年黒部川の水質改善の一役を担っているのではないかと思います。また、学校週5日制への対応として、これらの自然体験で得たものは、きっと子供たちの生涯学習の芽となり、自ら学ぶ態度や心豊かな人間形成にも大きく役立つだろうと念じております。今後も国土交通省黒部河川事務所、黒部市をはじめ関係諸機関の皆様の温かいご指導とご支援を賜りながら、少年団の活動を発展・充実させていきたいと思っております。

黒部市が環境省の認定する「名水百選」に選ばれ、更に国土交通省の「水の郷」に認定されるなど、北アルプ스에抱かれた黒部川扇状地で豊かな水に恵まれて名水の里に生活する中で、大人が「名水会」を組織してその恵まれた水を守る為に研究を重ねており、時代を継ぐ為に市内の小学校5年生6年生を対象に、子供の立場で研究する会が平成4年に設立されました。以来先輩の研究を引き継ぎ、後輩へと「水の大切さ」を学んでいるそんな少年団である。

感じていきますか、水のありがたさ



▲黒部川上流では巨大な石灰岩や花こう岩などにも感動！



▲結団式後、活動に欠かせない観測機器の使い方を学びました。



▲仲間たちとのお弁当タイムも活動の楽しみです。

考えたこと 感じたこと

水みらい プロジェクト2005 に参加して

武隈 侑也(村椿小学校 6年)

6月に海岸清掃と海浜植物調査をしました。荒俣海岸には「ハマニガナ」や「ハマヒルガオ」などが咲いていました。先生から「砂だらけの海岸で植物が生るために、根が深く広がっている。」と教えてもらいました。「ハマヒルガオ」を実際にぬいてみると本当に根が広がっていました。植物が水の少ない砂浜で生きるために工夫しているので、すごいなあと思いました。

経塚 将也(村椿小学校 6生)

8月に立山の源流調査へ行きました。下は暑かったけど、山はずすしく、川の水は冷たかったです。立山にはまだ雪もあったので驚きました。この雪どけ水が集まって大きな川になるんだなあと思いました。途中には高山植物の「チングルマ」が咲いていました。下に降りるとペットボトルが気圧でへこんでいたことも、びっくりしました。



▲宇奈月ダムの中に入ると、ダムの動きを目のあたりにしました。

学習テーマの設定

豊かな水環境を大切に

黒部が“名水の里”として有名なのは、黒部川の清流や、扇状地のいたる所にあるわき水など、恵まれた水環境のおかげです。この豊かさをあたりまえとせず、もっと水を知り大切にしようとして活動しています。



歩みを受け継いで進む

結成から14年目を迎えた今年は、6年生22名、5年生13名の合わせて35名が参加。いっしょに活動する仲間を確かめ、先輩たちの思いとともに受けつがれてきた団旗を受け取りました。

学習の展開

黒部市全体がステージ

はるか奥の方にある立山連峰から、黒部川が海へと流れそそいでいる黒部市。私たちの活動のステージは黒部川上流、中流、下流の3地点と、さらに海浜植物についても観察しました。



7月3日 清掃活動(荒俣海岸)



海を守り見つめる

地域の人たちといっしょに荒俣海岸の清掃活動をして、ひとりひとりが海を汚さないよう気をつけたいと思いました。また砂浜に根を広げてたくましく生きるハマヒルガオなど海浜植物の観察も行いました。

水のきれいさを確認

清流といわれる黒部川はほんとうにきれいなのか、水生生物による水質調査をしました。上流・中流・下流のどの場所でも、きれいな水にすむ生き物が見つかり、黒部川がきれいであることを確かめました。



8月9日 北アルプス探検隊



さまざまな自然と出会う

北アルプス源流調査では、カルデラ砂防博物館を見学してから室堂へ。いろいろな高山植物を観察し、名水「霊殿(たまとの)の泉」も見学するなど、いろいろな体験ができました。

もっと水と仲よしに！

修了式では学校や家庭だけではできなかった体験や学んだことをふりかえり、修了証をいただきました。この経験を生かして、これからも水を守り、もっと水と仲よしになりたいと思います。

